

富士川はごみ捨て場？

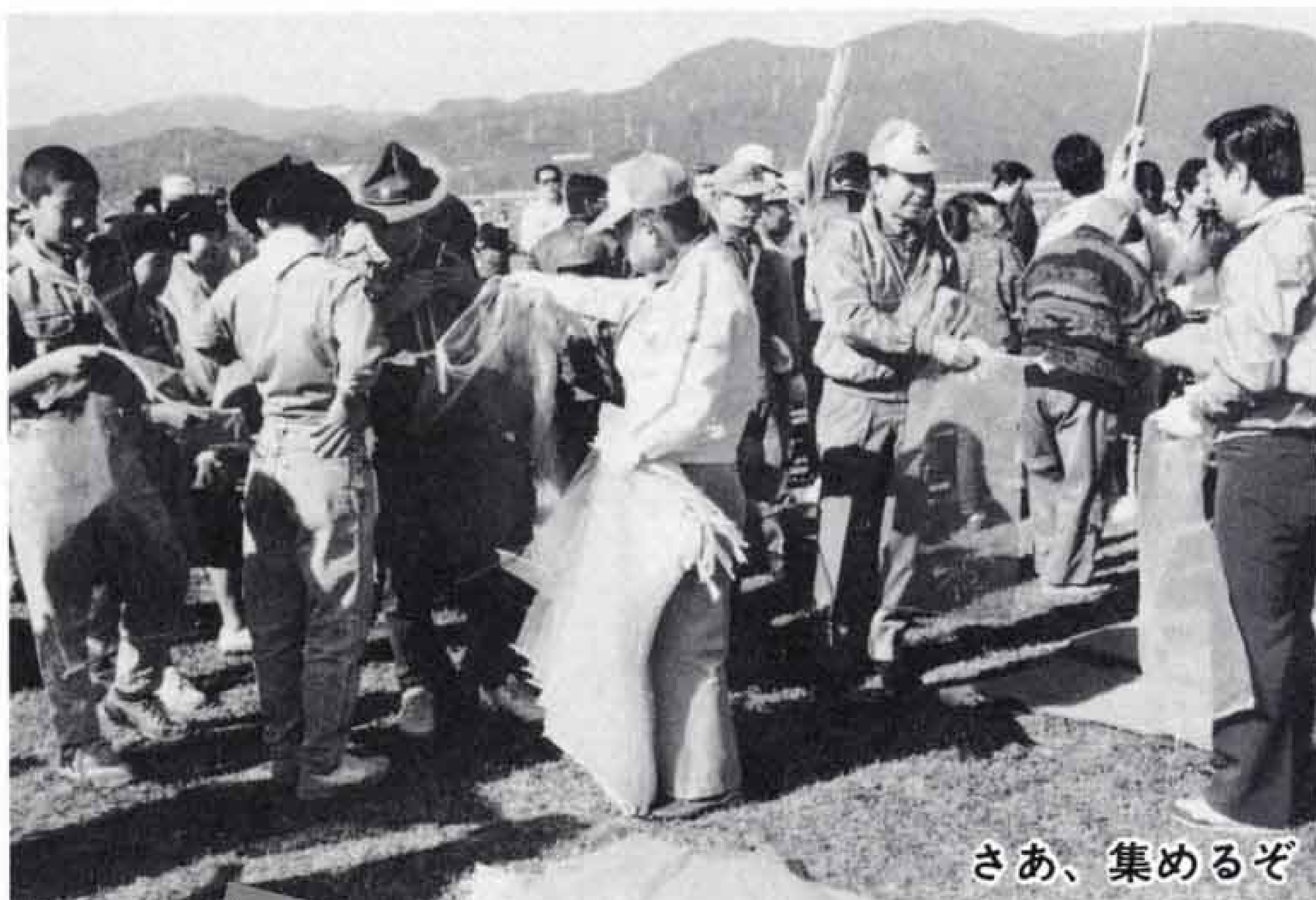
富士川クリーン作戦

三千人が参加

十一月六日、秋晴れの中、みどりと環境美化を推進する富士市民の会が主催する「第二回富士川クリーン作戦」が行われました。

参加者は、富士川緑地などの施設を利用しての団体や、田子浦、富士南地区の皆さんなど七十五団体、三千人。

担当区域や注意事項を確認後、皆手に手にごみ袋を持ち、緑地の中や道、土手に捨てられた空缶などを拾い始めました。



さあ、集めるぞ



△道のごみは少しです

ごみの多くは

廃棄物

河口近くの草の中、ごみの大物がゴロゴロ出て来ました。

大量のタイヤや発泡スチロール、不要になったベッド、いすなどの家具、果てはボートまで。たちまちトラックの荷台は一杯になってしまいました。

集まったごみの量は二トトラック三十台分。捨てる人と拾う人、いたちごっこでは困ります。ちなみに、家庭ごみのほとんどは、第一清掃工場処理してもらえます。



△ところがどっこい草の中



ごみの大物でトラックは満杯



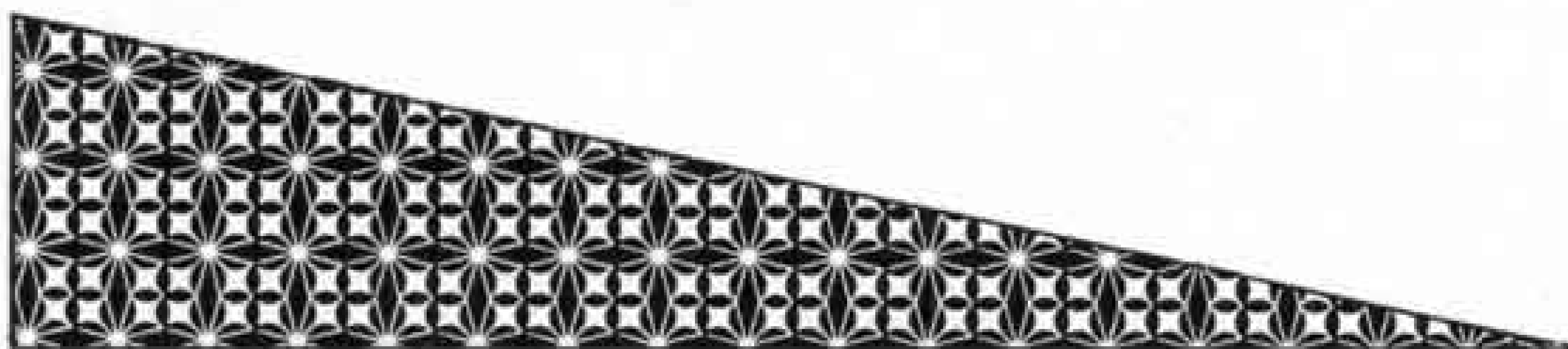
△ボートもごみに



△後ろに伸ばすと橋にもなります

高層ビル火災などから、市民の生命財産を守るため、十月三十一日、中央消防署に最進鋭のはしご車が配備されました。

はしごは三十五メートル、ビルの九階まで届きます。また、はしごの角度は、七十五度からマイナス十度まで変えられます。水平にして遠く離れた場所へ橋としてかけられるほか、川の中州に取り残された人に、はしごの先に付けたかごで近づくなど、これまでにない救助活動ができます。



中央消防署に

新型はしご車



△菊をもらって思わずニコリ

東田子の浦駅で 第32回菊花展

JR東田子の浦駅で開かれた菊花展も三十二回目となり、市内の名物の一つになっています。

今年は、期間中の十一月三日に、小学六年生の女子二十人が、八百束、四千本の菊の花を、電車の乗客に配りました。

菊の花を笑顔で受け取った乗客は、早速姿と香りを楽しんでいました。



△次から次と手が出てきます

新鮮で安い

農林水産フェア

市民と公設卸売市場の年一回の接点、農林水産フェアが十一月六日に行われ、八時半の開場前からたくさんの人出がありました。

天候不順で高値の野菜に人気が集まり、キャベツ、大根、白菜は一時間ほどで売り切れです。

また、鮮魚コーナーでも、タコ、マグロ、サンマなどが並べられ、威勢のよいかげ声で売られています。

買われた野菜や魚が、夕飯の食卓ににぎわしたことでしよう。